

【質疑応答】

Q 1 . 今回の持株会社制への移行は、分社化と権限委譲による「ロイヤル関西」の成功事例をロイヤル本体で広げていくと捉えてよいでしょうか。

A 1 . それだけではございません。これまでいろいろな子会社の経営の結果から、中央集権的な、ピラミッド的な意思決定よりも、地域別、機能別に独自性をもって権限を委譲した方がより効率的に、より利益率も高まること証明できたからです。それを本体においても、同じような形で実践していくことが、当面のロイヤルグループの価値を高めることになるだろうと考えております。

Q 2 . 地域別に分社化をしていくそうですが、ロイヤル関西は将来的にどうなるのでしょうか。

A 2 . ロイヤル関西も地域分社の一つです。ロイヤル関西は当面今のままで、100%の子会社で、既に切り分けられた分社の一つと考えております。

Q 3 . シズラーはロイヤルカジュアルダイニングと位置付けられていますが、カジュアルダイニングとは既存のファミリーレストランと居酒屋の間にあるような、アルコール比率の高い店舗ですか。

A 3 . 今はシズラーだけで分社していく予定です。カジュアルダイニングと名称を付けたのは、単にサラダバーを中心とするレストランだけではなく、将来ロイヤルホストとは違う、他の専門店とも違うレストランを構築する意欲の表れです。当面は、シズラーを中心としたものと考えて頂きたいと思います。

Q 4 . カフェクロワッサンは店舗の減少が続いていますが、この減少傾向はどのぐらい続きますか。

A 4 . カフェクロワッサンは不採算店舗を3店舗し黒字化して参りました。私共のベーカリー部門の一部門として、エリザベスマフィンなども含めどのような形でベーカリー事業、カフェ事業の転換を図るか検討しています。今後は拡大していきたいと考えます。

Q 5 . 2005年12月期の個別決算で、特別損失が10億2000万円計上されていますが、その内容はどのようなものですか。

- A 5 . 減損損失を 8 億 2 0 0 0 万円計上しており、それが特別損失の主因です。
当社は地方に自社の土地を所有しており、傾向としてまだ土地が値下がりしていく
かもしれないと見込み、上記の金額を計上しました。
- Q 6 . ロイヤルホストの店舗の減少は不採算店が一巡し、横ばいになっているようですが
今後残っている不採算店の閉店の基準を、どのように考えていらっしゃるのでしょ
うか。
- A 6 . 直近の一年間の経常利益が赤字であれば、その理由のいかんを問わず、とりあえず
俎上に乗せません。これに乗せた結果、方策がでて、もう少し様子を見ましょうとい
うこともあります。撤退基準で申し上げますと、直近一年間が経常赤字の店は、すべ
てしかるべき会議の俎上にのります。このように決め、この運用をしています。
- Q 7 . 分社化にあたり、フェイズ 1 とフェイズ 2 に分かれています、時期的な見通しを
教えてください。
- A 7 . フェイズ 1 は、先ほどから申し上げているように、7 月 1 日からです。
これまで 5 0 年のピラミッド型、中央集権的な組織で、本社は福岡でやってきまし
た。すべての事業をフェイズ 1 から分社化するにはリスクがございますので、まず
中核事業会社の新ロイヤルを作り、徐々にこの方向に進んでいきます。従って、フ
ェイズ 2 はフェイズ 1 が完了してからで、一年二年の中でということになります。
早くできる部門、例えばロイヤルホストの地域分社は早く、その他のサービス部門
の分社化はこの後にくると考えます。